

芸術地域デザイン学部の学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針

【佐賀大学芸術地域デザイン学部の教育目的】

芸術地域デザイン学部の教育上の目的は、「芸術を通じた地域創生のための人材」、地域社会において「芸術で地域を拓く人材」、国際社会で活躍する「芸術で世界を拓く人材」を養成することである。

【佐賀大学芸術地域デザイン学部の学位授与の方針（ディプロマポリシー）】

1) 芸術地域デザイン学部芸術地域デザイン学科の学位授与の方針（ディプロマポリシー）

①基礎的な知識と技能

芸術とそれを取り巻く諸学問の基礎的な理論・知識・技能を身につけ、それを地域創生・地域貢献に活かしていくことができる。

②課題発見・解決能力

芸術と人間のかかわりについての問題意識をもち、芸術が人間社会に対してなしうることを、身近な環境の中から発見する能力を身につけている。

③個人と社会の持続的発展を支える力

芸術や言葉を媒介としたコミュニケーションによって、よりよい社会の形成に貢献できる能力を身につけている。

2-1) 芸術表現コースの学位授与の方針（ディプロマポリシー）

①基礎的な知識と技能

芸術表現の基礎とそれを支える技法や素材に対する知識を身につけ、それを地域創生・地域貢献に活かしていくことができる。

②課題発見・解決能力

美術の造形やデザインが人間社会にどのような影響を与えることができるかについて問題意識をもち、それらを追及していく強い意志をもっている。

③個人と社会の持続的発展を支える力

美術を通してよりよい社会の形成に寄与していく強い意志をもっている。

2-2) 地域デザインコースの学位授与の方針（ディプロマポリシー）

①基礎的な知識と技能

地域デザインの基礎的な理論と実践力を身につけ、それを地域創生・地域貢献に活かしていくことができる。

②課題発見・解決能力

芸術活動を通して、人間社会にどのような積極的な意味を見出していけるかを考え、それらを追求していく強い意志をもっている。

③個人と社会の持続的発展を支える力

芸術活動を通してよりよい社会の形成に寄与していく強い意志をもっている。

【佐賀大学芸術地域デザイン学部の教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）】

1) 芸術表現コースの教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

- ① 健全で潤いのある地域社会の構築に関わる一員として、社会科学、人文科学、自然科学の幅広い教養とコミュニケーション力、情報活用能力等のスキルを身につける。
- ② 主体性、積極性、協調性、発想力、企画力、リーダーシップなどの特性を身につける。
- ③ 独自の芸術表現とそれを支える技術、芸術の歴史や素材・技法に関する知識、経営的な視点を持ち、芸術を多面的・総合的に捉える能力を身につける。
- ④ 優れた芸術表現を通して、地域の活性化に寄与できる方法論を身につける。

2) 地域デザインコースの教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

- ① 健全で潤いのある社会の構築に関わる社会の一員として、社会科学、人文科学、自然科学の幅広い教養とコミュニケーション力、情報活用能力等のスキルを身につける。
- ② 主体性、積極性、協調性、発想力、企画力、リーダーシップなどの特性を身につける。
- ③ 地域デザインの理論と実践力、芸術の歴史や素材・技法に関する知識、経営的な視点を持ち、芸術を多面的・総合的に捉える能力を身につける。
- ④ 優れた地域デザインの能力を駆使し、芸術を通して地域の活性化に寄与できる方法論を身につける。

【教育の実施体制】

授業科目の教育内容ごとに、その分野の授業を行うのに適した専門性を有する教員が担当するよう教員を配置する。必要に応じて TA が授業を補助し、より円滑で充実した授業を実現する。

また、授業科目の順次性に留意し体系的な知識や理論、技術を学べるように、授業科目の学年配当を工夫する。あわせて、学生や受験生、様々なステークホルダーにも分かりやすいように、科目にはコースナンバリングを適用する。

【教育・指導の方法】

実習による実践的学習や体験学習と講義による知識の獲得とをバランスよく組み合わせ、学習成果を高める。また、少人数の学生グループごとに指導教員(チューター)を配置し、ラーニング・ポートフォリオ、GPA を活用して、きめ細かな履修指導や学習支援を行う。

【成績の評価】

各授業科目の学習内容、到達目標、成績評価の方法・基準を学習要項(シラバス)により学

生に周知し、それに則した厳格な成績評価を実施する。複数の教員が担当する学部共通科目やコース基礎科目においては、複数の教員による採点評価方法を導入する。また、学生の求めに応じ、成績評価の根拠資料の提示や説明を義務付ける。